

独立混成才三十四聯隊（才十九野戦防空隊司令部）行動記録

期間会議名	主要作戦戦闘行動業務の概要	損耗
一八、五、一 一八、一、三〇 才一次 ビスマルク戦 才八方面軍司 合官隷下 才十七師団長 の指揮下	司令部は官邸山に位置し司令官河合大佐左記部隊を併せ指揮 シラバウル附近要地防空戦斗並に警備に任じ主として内港東 西、南飛行場の直接防空戦斗及ラバウル附近防衛陣地構築に 従事す 敵機の来襲も九月末以降急激に増加し戦爆連合の一〇〇機、 二〇〇機の大編隊を以て来襲連日に亘り夜間又は低空爆撃を 実施主要爆撃目標は内港在泊中の艦船各飛行場其の他軍事施 設に亘り行わる 左記 才十九野戦防空隊司令部 河合大佐以下約九〇名 野戦高射砲才四十七大隊（才三中隊欠） 黒田中佐以下約三二〇名	戦死傷 約八五名

野戦高射砲才五十大隊才三中隊 浦山中尉以下約一〇〇名	野戦高射砲才六十大隊徳永中佐以下約五〇〇名 才一野戦高射砲教育隊根岸中佐以下約二八〇名 独立高射砲才三十六中隊貞包中尉以下約一八〇名 独立高射砲才三十七中隊大塚中尉以下約一六〇名 野戦照空才五大隊八尋少佐以下約四〇〇名	一八一三、一 一九、三、二四 才二次 ビスマルク戦 才八方面軍司 令官の隷下 才三十八師団 長の指揮下
	司令官河合大佐は引続き左記部隊を指揮すると共にソロモン方面より転進の野戦高射砲才五十八大隊（山中少佐）約三〇〇名、独立高射砲才三十一中隊約七〇名、野戦機関砲才二十二中隊約一五〇名、野戦機関砲才二十七中隊約一三〇〇名、野戦照空才三大隊（杉山中佐）約三〇〇名を併せ指揮し此等部隊を再編強化しラバウル要地防空戦斗並に警備に任ずると共にラバウル防禦陣地構築を続行す 敵機の来襲は連日戦爆連合の大編隊を以て艦船、各飛行場	
		戦死傷 約一一〇名

の軍事施設の外軍需品集積所に指向し之が為ココボ地区並に赤根山附近に部隊の増強を計り之が防空援護に努む

三月七日戦況の変化に伴い司令部をトトベルに移動す

左記

才十九野戦高射砲隊司令部	約九七	
野戦高射砲才四十七大隊(欠二中)	約三一〇	西飛行場地
独立高射砲才三十七中隊	約一四五	区隊
野戦機関砲才二十二中隊	約一五〇	(長黒田中佐)
野戦照空才三大隊	約三〇〇	
野戦高射砲才五十大隊才二中隊	約一二〇	
才一野戦高射砲教育隊	約二八〇	
野戦高射砲才五十八大隊	約三〇〇	ラバウル地
独立高射砲才三十六中隊	約一七〇	区隊
独立高射砲才三十一中隊	約七〇	(長河合大佐)
野戦照空才五大隊(欠一中隊)	約二八〇	
野戦機関砲才二十七中隊	約一三〇	ココボ地区隊

ラバウル要地
防空戦並に
警備

野戦高射砲才六十六大隊
野戦照空才五大隊一中隊

約五〇〇
約一二〇
(長徳永少佐)

一九三二五
一九一〇三〇

司令官河合大佐引続き左記部隊を併せ指揮シラバウル要地
防空戦斗並警備、軍需品集積所掩護に任ずると共に八月一

戦死傷八〇名

才三次
ビスマルク戦
(ラバウル要
地防空戦斗並
警備)

同師団長の直轄たらしめられ旧鏡原地区隊、山砲一中隊、
戦車才八聯隊一小隊を指揮下に入らしめられ対空挺隊とな
り海軍齊藤部隊と協力西飛行場周辺対空挺作戦準備に当り
又才十七師団陸正面作戦準備に精進す

戦死傷八〇

才八方面軍司
令官の隷下
才十七師団長
の指揮下

四月カ号作戦参加ラバウルに集結せる野戦高射砲才三十九
大隊、同才五十大隊(欠才二中隊)、同才四十七大隊才三
中隊の再編在ラバウル防空部隊残留隊の整備、兵力の増強
に努む五月才一野戦高射砲教育隊、独立高射砲才三十六
隊を鏡原地区隊長の指揮下に入らしめ六月及び八月
31AAS
27MA
34Q
54Q
を才三十八師団長の指揮下に入らしむ
39AA
58AA
37AAS中

敵機の大機を以てする編隊爆撃は軍事施設に指向し哨戒機を以てする銃撃連日跳梁す
依つて隨時隨所に低空跳梁敵機を求め之が撃墜に努む五月二十七日中央高地西南二軒に司令部を移動す

左記

才十九野戦高射砲隊司令部	約一〇〇
野戦高射砲才四十七大隊	約四五〇
同 才五十大隊	約三八〇
同 才六十大隊	約五〇〇
山砲一大隊	約八〇〇
戦車才八聯隊一小隊	約一五〇
中山部隊	約一九〇〇
野戦照空才五大隊一小隊	約七〇

司令官河合大佐左記部隊を併せ指揮し西飛行場周辺対空挺作戦準備に任ず十月永井部隊を才十七師団長の直轄たらしめ鏡原地区師団陸正面作戦準備は詳かる昭二〇、四復員復帰、

戦死傷
約五〇

一九二一、一
二〇、四、一四

0169

才四次
 ビスマルク戦
 (ラバウル要
 地防空戦斗並
 警備)
 才八方面軍司
 令官の隷下
 才十七師団長
 の指揮下

独立混成才三十四聯隊の編成に着手す

左記

才十九野戦高射砲隊司令部

約九五

野戦高射砲才四十七大隊

約四四〇

同 才五十大隊

約三五〇

同 才六十大隊

約四九〇

野戦照空才五大隊一小隊

約七〇

戦車才八聯隊一小隊

約一五